

# 四半期報告書

(第42期第1四半期)

自 平成27年4月21日

至 平成27年7月20日

株式会社ダイサン

大阪府中央区南本町二丁目6番12号

# 目 次

頁

表 紙

## 第一部 企業情報

### 第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	1

### 第2 事業の状況

1 事業等のリスク	2
2 経営上の重要な契約等	2
3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	2

### 第3 提出会社の状況

#### 1 株式等の状況

(1) 株式の総数等	3
(2) 新株予約権等の状況	3
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等	3
(4) ライツプランの内容	3
(5) 発行済株式総数、資本金等の推移	3
(6) 大株主の状況	3
(7) 議決権の状況	4

#### 2 役員の状況

	4
--	---

### 第4 経理の状況

	5
--	---

#### 1 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8

#### 2 その他

	11
--	----

## 第二部 提出会社の保証会社等の情報

	12
--	----

[四半期レビュー報告書]

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成27年9月1日
【四半期会計期間】	第42期第1四半期（自平成27年4月21日 至平成27年7月20日）
【会社名】	株式会社ダイサン
【英訳名】	DAISAN CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 藤田 武敏
【本店の所在の場所】	大阪市中央区南本町二丁目6番12号
【電話番号】	06 (6243) 6341
【事務連絡者氏名】	経営企画室 室長 多留 健二
【最寄りの連絡場所】	大阪市中央区南本町二丁目6番12号
【電話番号】	06 (6243) 6341
【事務連絡者氏名】	経営企画室 室長 多留 健二
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第41期 第1四半期累計期間	第42期 第1四半期累計期間	第41期
会計期間	自 平成26年4月21日 至 平成26年7月20日	自 平成27年4月21日 至 平成27年7月20日	自 平成26年4月21日 至 平成27年4月20日
売上高 (千円)	1,792,320	1,879,858	7,751,993
経常利益 (千円)	135,932	114,260	895,990
四半期(当期)純利益 (千円)	78,034	62,701	565,850
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	—	—	—
資本金 (千円)	566,760	566,760	566,760
発行済株式総数 (株)	7,618,000	7,618,000	7,618,000
純資産額 (千円)	6,687,024	7,044,480	7,131,468
総資産額 (千円)	8,963,822	9,198,924	9,107,093
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	10.31	8.29	74.79
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
1株当たり配当額 (円)	—	—	28.00
自己資本比率 (%)	74.6	76.6	78.3

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。
4. 関連会社がありませんので、持分法を適用した場合の投資利益は記載しておりません。
5. 第41期の1株当たり配当額28円は、設立40周年記念配当2円を含んでおります。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、景気の緩やかな回復傾向が続いており、企業収益の改善を背景に、設備投資、雇用情勢とも、堅調に推移致しました。

当社に関連の深い住宅業界におきましては、消費税増税による駆け込み需要の反動減の影響が和らぎ、緩やかな持ち直しの傾向が続きました。

こうした状況において、当社の施工サービス事業では、大手住宅メーカーとの取引量拡大のため、引き続き営業活動を強化したこと、施工力増強のため、施工人員の確保に努めたことなどから、前年同期と比べ、売上高、利益とも増加致しました。

また、製商品販売事業では、消費税増税前の前倒しによる購入の影響が続き、売上高、利益とも前年同期と比べ、減少致しました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は1,879百万円（前年同期比4.9%増）、利益につきましては、営業利益95百万円（同23.3%減）、経常利益114百万円（同15.9%減）、四半期純利益は62百万円（同19.6%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①施工サービス事業

施工サービス事業につきましては、売上高は1,569百万円（前年同期比8.1%増）、売上総利益は393百万円（同2.7%増）となりました。

#### ②製商品販売事業

製商品販売事業につきましては、売上高は287百万円（前年同期比6.6%減）、売上総利益は113百万円（同9.4%減）となりました。

#### ③その他

その他につきましては、業務受託料および保険代理店収入等で構成されており、売上高は22百万円（前年同期比31.0%減）、売上総利益は13百万円（同40.3%減）となりました。

#### (2) 財政状態について

当第1四半期会計期間末の総資産は、たな卸資産の増加136百万円、貸貸用仮設材の増加23百万円、投資有価証券の減少53百万円により前事業年度末に比べ91百万円増加の9,198百万円となりました。有利子負債は社債の償還等により前事業年度比28百万円減少の120百万円となりました。

純資産は、前事業年度末に比べ86百万円減少の7,044百万円となり、自己資本比率は76.6%となりました。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第1四半期累計期間における研究開発活動の金額は8百万円であります。

なお、当第1四半期累計期間における当社の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

#### (5) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営成績の現状と見直し

当第1四半期累計期間において、当社の経営成績に重要な影響を与える要因に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### ①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	26,000,000
計	26,000,000

###### ②【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成27年7月20日)	提出日現在発行数(株) (平成27年9月1日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	7,618,000	7,618,000	東京証券取引所 (市場第二部)	権利内容に何ら限定 のない当社における 標準となる株式であ り、単元株式数は100 株であります。
計	7,618,000	7,618,000	—	—

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成27年4月21日 ～平成27年7月20日	—	7,618,000	—	566,760	—	649,860

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成27年4月20日）に基づく株主名簿による記載をしております。

### ①【発行済株式】

平成27年7月20日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 52,100	—	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式（その他）	普通株式 7,564,600	75,646	同上
単元未満株式	普通株式 1,300	—	1単元（100株）未満の株式
発行済株式総数	7,618,000	—	—
総株主の議決権	—	75,646	—

（注）「完全議決権株式（その他）」の欄には、証券保管振替機構名義の株式100株が含まれております。「議決権の数（個）」の欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数1個が含まれております。

### ②【自己株式等】

平成27年7月20日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
(株) ダイサン	大阪市中央区南本町2丁目6番12号	52,100	—	52,100	0.68
計	—	52,100	—	52,100	0.68

（注）平成27年7月20日現在の自己株式は52,110株であります。

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期会計期間（平成27年4月21日から平成27年7月20日まで）及び第1四半期累計期間（平成27年4月21日から平成27年7月20日まで）に係る四半期財務諸表について、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

### 3. 四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年4月20日)	当第1四半期会計期間 (平成27年7月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,384,535	1,362,065
受取手形及び売掛金	1,284,510	※ 1,327,167
電子記録債権	238,202	236,763
有価証券	500,342	500,370
たな卸資産	423,378	560,072
賃貸用仮設材	1,063,214	1,086,478
その他	153,375	142,083
貸倒引当金	△4,499	△4,439
流動資産合計	5,043,059	5,210,562
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,449,594	1,449,594
その他(純額)	335,206	327,960
有形固定資産合計	1,784,800	1,777,554
無形固定資産		
	48,164	38,537
投資その他の資産		
投資有価証券	1,804,360	1,750,938
その他	439,272	433,569
貸倒引当金	△12,563	△12,238
投資その他の資産合計	2,231,069	2,172,269
固定資産合計	4,064,034	3,988,361
資産合計	9,107,093	9,198,924
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	612,712	※ 866,266
1年内償還予定の社債	80,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	8,700	—
未払法人税等	14,820	54,153
賞与引当金	151,714	107,975
その他	544,983	532,771
流動負債合計	1,412,930	1,641,167
固定負債		
社債	60,000	40,000
役員退職慰労引当金	105,400	—
資産除去債務	53,608	53,730
その他	343,686	419,545
固定負債合計	562,695	513,276
負債合計	1,975,625	2,154,443

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年4月20日)	当第1四半期会計期間 (平成27年7月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	566,760	566,760
資本剰余金	649,860	649,860
利益剰余金	5,217,239	5,166,452
自己株式	△15,029	△15,029
株主資本合計	6,418,829	6,368,042
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	712,639	676,437
評価・換算差額等合計	712,639	676,437
純資産合計	7,131,468	7,044,480
負債純資産合計	9,107,093	9,198,924

## (2) 【四半期損益計算書】

【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成26年4月21日 至 平成26年7月20日)	当第1四半期累計期間 (自 平成27年4月21日 至 平成27年7月20日)
売上高	1,792,320	1,879,858
売上原価	1,261,029	1,359,379
売上総利益	531,291	520,479
販売費及び一般管理費	407,254	425,374
営業利益	124,037	95,104
営業外収益		
受取利息	3,514	1,657
受取配当金	6,751	13,835
受取保険金	283	3,276
受取賃貸料	—	695
その他	4,053	2,156
営業外収益合計	14,602	21,620
営業外費用		
支払利息	606	232
支払保証料	367	170
減価償却費	626	543
その他	1,106	1,519
営業外費用合計	2,706	2,464
経常利益	135,932	114,260
特別損失		
固定資産除売却損	51	—
特別損失合計	51	—
税引前四半期純利益	135,880	114,260
法人税、住民税及び事業税	57,930	49,750
法人税等調整額	△84	1,807
法人税等合計	57,846	51,558
四半期純利益	78,034	62,701

【注記事項】

(追加情報)

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、平成27年7月9日開催の第41期定時株主総会において、退任取締役に対する退職慰労金贈呈ならびに役員退職慰労金制度廃止に伴う退職慰労金打ち切り支給の件を決議いたしました。

これに伴い、役員退職慰労引当金を全額取り崩し、退任取締役に対する退職慰労金の未払い分14百万円を流動負債の「その他」に、その他の取締役に対する打ち切り支給額の未払い分92百万円を固定負債の「その他」に含めて表示しています。

(四半期貸借対照表関係)

※ 四半期会計期間末日満期手形

四半期会計期間末日満期手形の会計処理については、当四半期会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期会計期間末日満期手形の金額は、次のとおりであります。

	前事業年度 (平成27年4月20日)	当第1四半期会計期間 (平成27年7月20日)
受取手形	－千円	3,664千円
支払手形	－	64,765

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 平成26年4月21日 至 平成26年7月20日)	当第1四半期累計期間 (自 平成27年4月21日 至 平成27年7月20日)
減価償却費	21,415千円	20,631千円

(株主資本等関係)

I 前第1四半期累計期間（自 平成26年4月21日 至 平成26年7月20日）

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年7月10日 定時株主総会	普通株式	121,054	16	平成26年4月20日	平成26年7月11日	利益剰余金

II 当第1四半期累計期間（自 平成27年4月21日 至 平成27年7月20日）

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月2日 取締役会	普通株式	113,488	15	平成27年4月20日	平成27年6月25日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額には、設立40周年記念配当2円を含んでおります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間（自平成26年4月21日 至平成26年7月20日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	施工 サービス事業	製商品 販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,451,899	307,498	1,759,398	32,922	1,792,320
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,451,899	307,498	1,759,398	32,922	1,792,320
セグメント利益	382,950	125,023	507,973	23,317	531,291

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務受託料および保険代理店収入等であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間（自平成27年4月21日 至平成27年7月20日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	施工 サービス事業	製商品 販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,569,951	287,183	1,857,134	22,723	1,879,858
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,569,951	287,183	1,857,134	22,723	1,879,858
セグメント利益	393,267	113,285	506,553	13,926	520,479

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務受託料および保険代理店収入等であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 平成26年4月21日 至 平成26年7月20日)	当第1四半期累計期間 (自 平成27年4月21日 至 平成27年7月20日)
1株当たり四半期純利益金額	10円31銭	8円29銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	78,034	62,701
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	78,034	62,701
普通株式の期中平均株式数(千株)	7,565	7,565

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2【その他】

平成27年6月2日開催の取締役会において、平成27年4月期の期末配当に関し、次のとおり決議しました。

(イ) 配当金の総額・・・・・・・・・・113百万円

(ロ) 1株当たりの金額・・・・・・・・・・15円00銭

(注) 1株当たり配当額には、設立40周年記念配当2円を含んでおります。

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・・・・・・平成27年6月25日

(注) 平成27年4月20日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払を行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年9月1日

株式会社ダイサン

取締役会 御中

太陽有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 森田 義 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 池田 哲雄 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ダイサンの平成27年4月21日から平成28年4月20日までの第42期事業年度の第1四半期会計期間（平成27年4月21日から平成27年7月20日まで）及び第1四半期累計期間（平成27年4月21日から平成27年7月20日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

## 四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ダイサンの平成27年7月20日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が四半期財務諸表に添付する形で別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。

## 【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成27年9月1日
【会社名】	株式会社ダイサン
【英訳名】	DAISAN CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 藤田 武敏
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	大阪市中央区南本町二丁目6番12号
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役藤田武敏は、当社の第42期第1四半期（自平成27年4月21日 至平成27年7月20日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認しました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。